

# 《 令和5（2023）年度 開講科目の紹介 》

## 国語科

### 新現代の国語（2単位）

現代社会にあふれる様々な種類の文章（説明文や評論文など）にふれ、実生活に活かすため国語の基礎を学びます。新課程の必修科目です。

### 新言語文化（2単位）

文学的な文章を読むことを中心に、日本のさまざまな言語文化（古典文学・近現代の小説など）にふれ、言葉の使い方や感性を養います。新課程の必修科目です。

### 旧国語総合（4単位）

中学校で学習した国語の内容が少し高度になります。内容は現代文（評論や詩・小説などの文学的な文章）と古文・漢文の初歩を学習します。「国語総合」はすべての国語の学習の基礎となるもので、旧課程の必修科目です。

### 旧現代文B（4単位）

近代以降の小説・評論・随筆・詩歌などのさまざまな文章を読み、自分や世界について、いろいろな見方ができるようになることをめざします。

### 旧古典B（4単位）

精選された古文（伊勢物語・源氏物語等）と漢文（故事・漢詩等）に触れ、日本語や日本文化、文学について発展的な学習をおこないます。

### 国語演習（4単位）

「国語総合」「現代文」「古典」等の学習を受けて、奈良時代から近現代までの幅広い作品を多角的に読み、鑑賞します。漢字についても理論的に学習します。

### 基礎国語（2単位）

ことわざ・慣用句・四字熟語や漢字の意味や用法などを学習します。

## 社会科

### 新歴史総合（3単位）

これからの未来を築いていくために、近代以降の世界の歴史を振り返り、「近代化」や「グローバル化」がいつ、どこで、どのように起こり、現在の社会にどのような影響を及ぼしたかを学びます。

### 旧世界史B（4単位）

グローバル化が進む現代の世界を知るためには、過去について学ぶことが不可欠です。原始時代から現代に至る世界の歴史を学びます。

### 旧日本史B（4単位）

日本の歴史について、政治や経済の変化・進展を中心に学習するとともに、日本の文化や産業技術が政治や経済とどのように関連しあいながら創造されてきたかを総合的に学習して、日本の現在・未来について考えます。

### 旧地理 B (4単位)

世界のさまざまな地域の自然・気候や人々の暮らしについて学ぶことで、多様な文化を理解し、世界を見る眼を養います。

### 大阪の歴史 (2単位)

大阪の歴史や土地柄を知ることは、毎日の生活を営む大阪を理解するにはとても大切です。大阪の要素を理解してはじめて「大阪らしさ」を理解し、大阪人の誇りが育まれます。大阪市域の歴史を先史・古代から近・現代までダイジェストで紹介します。

### 新公共 (3単位)

現実社会のさまざまな課題について、哲学や政治制度などの学習を通じて多面的に考えていきます。

### 旧倫理 (2単位)

人間・人生について、深く幅広い見方を持ちたいものです。哲学的人間学の視野から人間を探り、世界と日本の思想を学びます。

### 旧政治・経済 (2単位)

よりよい社会を作るために、民主主義と現代の政治と経済の基本的な仕組みを教科書や日々のニュースを通して学びます。

### 旧社会入門 (2単位)

世界の地理や日本の歴史、政治や経済のしくみなど、社会の重要な内容を基礎からやさしく学びます。

## 数学科

### 数学 I (3単位)

整式の加減および乗法、因数分解、方程式・不等式、2次関数、三角比、集合と論証、データの分析について学習します。この科目を履修しなければ次年度以降に「数学Ⅱ」「数学 B」を受講することはできません。

### 数学 I 入門 (3単位)

中学校の計算問題から始めます。正負の計算、平方根 ( $\sqrt{\quad}$ )、文字式の基礎等まで扱います。「数学 I」へすすむための入門科目ですので、他の数学の科目との同時受講はお薦めしません。また、この科目は必修科目ではありません。次年度以降「数学 I」を受講してください。

### 数学Ⅱ (4単位)

複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法と積分法などについて学びます。「数学 I」を発展させた内容で、他の数学科目に比べて計算や論理が難しいです。自宅などでの学習時間を増やす必要があるでしょう。

### 数学 A (2単位)

場合の数と確率、図形の性質などの基礎的な内容を学習します。

### 数学 B (2単位)

等差数列、等比数列、 $\Sigma$  の計算、ベクトル (主に平面のベクトル) について学びます。

### 旧数学活用 (2単位)

数学の歴史や生活の中にある身近な数学を通して、数の諸概念や数学と人間の活動とのかかわりを学びます。

# 理科

## 科学と人間生活（2単位）

人間生活に深くかかわる科学について、現在に至る科学技術の発展を学び、人間生活の中の科学としての「物質」「エネルギー」「生命」「地球や宇宙」の4分野について学習します。

## 物理基礎（2単位）

「物理基礎」は、物（モノ）の理（ことわり・ルール）を学ぶ学問です。具体的には、力学やエネルギーなどの物体の運動法則や熱、波、電気などの物理現象についても学習します。ある程度の数学力も必要です。分からないときは、どんどん質問に来てください。「物理Ⅰ」を修得済みの方は受講できません。

## 化学基礎（2単位）

化学は、物質についての学問です。物質をつくる原子の構造や振舞いから、身近な物質の性質や反応がなぜそうなるのかなどを実験や視聴覚映像を交えながら、楽しく学んでいきます。

## 生物基礎（2単位）

生物の特徴や遺伝子とそのはたらき、ヒトの体の調節、生物の多様性と生態系について学びます。「生物Ⅰ」を修得済みの方は受講できません。

## 地学基礎（2単位）

地球内部の構造から気象、宇宙の姿まで、身近な現象から理論的な考察まで、理科の幅広い分野を学習します。地球のシステムのいろいろなことがらを楽しく学べる科目です。「地学Ⅰ」を修得済みの方は受講できません。

## 旧生物（3単位）

「生物」は、「生物基礎」の内容をさらに深めた科目で、「生命現象と物質」、「生殖と発生」、「生物の環境応答」、「生態と環境」、「生物の進化と系統」について学習します。医療・看護系への進路を考えている人は、ぜひ受講しておいてください。「生物基礎（もしくは「生物Ⅰ」）を履修または修得した人しか受講できません。

# 保健体育科

## 保健 a (1単位)

現代社会では、生活習慣病、薬物乱用、精神疾患など健康問題は少なくありません。時代の流れの中で、健康自体的とらえ方や健康のために個人や社会に求められることも変化しています。ここでは、現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方などについて学習します。3範囲末に筆記試験があります。

## 保健 b (1単位)

安全な社会づくり、思春期から中高年期までに会う様々な健康問題、労働と健康の関係、働く人々の健康、社会制度や保健活動、環境・食品と健康などについて学習します。3範囲末に筆記試験があります。

## 体育 1 (3単位)

スクーリングは男女別で実施、3範囲末に筆記試験があります。スポーツの歴史や文化的側面について学び、現代社会とスポーツのかかわりとスポーツの重要性を考えます。

## 体育 2 (2単位)

スクーリングは男女別で実施、3範囲末に筆記試験があります。運動技能を構造的にとらえ、運動技能や体力を向上させる方法や運動の特性などについて学びます。

## 体育 3 (2単位)

スクーリングは男女別で実施、3範囲末に筆記試験があります。豊かなスポーツライフをおくるためのとりくみや課題などについて学びます。

## 体育 a (2単位)

スクーリングは男女合同で実施、スクーリング中に実技試験があります。運動への参加に制限があったり、禁止されたりしている人には不向きな科目です（ライフスポーツへの出席を希望する人は受講を避けてください）。

## 体育 b (2単位)

スクーリングは男女合同で実施、スクーリング中に実技試験があります。運動への参加に制限があったり、禁止されたりしている人には不向きな科目です（ライフスポーツへの出席を希望する人は受講を避けてください）。

実施する種目の予定

体育1男子	ソフトバレー・ハンドボール・陸上競技・サッカー・卓球など
体育1女子	ハンドボール・ソフトバレー・卓球・バドミントン・バスケットボールなど
体育2男子	陸上競技・ソフトボール・バスケットボール・バドミントン・ラグビーなど
体育2女子	ソフトバレー・陸上競技・バドミントン・体ほぐし・サッカーなど
体育3男子	バレーボール・テニス・バスケットボール・サッカー・バドミントンなど
体育3女子	ソフトボール・テニス・ソフトバレー・バドミントン・サッカーなど
体育 a	バレーボール・バスケットボール・バドミントン
体育 b	テニス・アルティメット・卓球

## 音楽科

### 音楽 I (2単位)

音楽理論の基礎、楽典、音楽史、諸民族の音楽、日本の伝統音楽、世界のポピュラー音楽等、幅広く学習します。実技は歌唱を予定しています。

### 鑑賞演習 (3単位)

西洋音楽史を学習しながら、中世、バロック、古典、ロマンから現代にいたるまでの作曲家の作品を DVD や CD 等で鑑賞します。音楽史に興味のある方は是非どうぞ。

## 美術科 ※これは2022年度の実施内容で、2023年度は大きく変わる可能性があります。

### 美術 I (2単位)

主に絵画やデザインの基礎である、デッサンやレタリング、色彩表現などを学習していきます。レポートで課される実技課題とは別に、スクーリング出席時に実技課題に取り組むことになります。実技課題の取り組みに必要な材料(水彩絵の具・画用紙など)・用具(筆など)は各自で準備し、費用も各自の負担となります。スクーリング出席は各範囲均等にしてください。

### 造形演習 (3単位)

絵画・デザインなどの作品づくりを、自主的に計画、制作していくことが中心の科目です。レポートは、各範囲3通、年間で9通です。そのうち、6通に作品制作があり、5点以上の作品提出が試験の代わりとなります。作品制作については、科目担当者が指定する課題が4回、自主的な作品制作が1回となっています。作品制作に必要な材料・用具は各自で準備し、費用も各自の負担となります。スクーリング出席は各範囲均等にしてください。

## 書道科

### 書道 I (2単位)

中学校書写の学習をふまえ、書道の基本的な筆づかいや用具の使い方などから学習します。漢字の書(楷書・行書・草書・隸書・篆書)・仮名の書・漢字仮名交じりの書を基礎から学習していきます。書道用具を各自で準備してください。

### 硬筆習字 (3単位)

ペン字の基本を学んだうえで、日常生活で使える実用的な題材(ハガキや手紙の書き方等)を学習していきます。

### 書造形演習 (3単位)

書道科目を履修していなくても受講できます。日常生活で使える美しい文字の書き方から、絵の具を使ったり半紙以外のものを書いたりするなど、さまざまな用具・用材を使った創作作品の制作まで、幅広い書の世界を体験します。

書道用具を各自で準備してください。その他、各自で準備が必要な材料もありますが、材料費が必要な場合もあります。

※芸術科目(音楽科・美術科・書道科)のスクーリングについては、実技科目ですので遅刻の場合、入室をお断りすることがあります。遅刻しないようにしてください。

## 英語科

新【英語コミュニケーションⅠ】（3単位） 【旧【コミュニケーション英語Ⅰ】（3単位）】

英語でものを考えたり、話したりできるようになるための基礎作りをし、「英語コミュニケーションⅡ」への橋渡しをめざします。「英語Ⅰ入門」とどちらを選択するか迷っている人は、「be動詞と一般動詞の区別がつくか、代名詞の活用がわかるか」などを目安にしてください。「(コミュニケーション) 英語Ⅰ」を修得している人は受講できません。

【英語Ⅰ入門】（3単位）

英語の学習から長期間離れていた方、今まではほとんど英語を学習する機会がなかった人、中学校で英語は勉強したけれど、もう一度基礎から英語を学習し直そうと考えている人を対象とした科目です。スクーリングにできるだけ多く出席し、英語に親しむことで、「英語コミュニケーションⅠ」への橋渡しをめざしています。「(コミュニケーション) 英語Ⅰ」「英語基礎」を修得済みの人は受講できません。

新【英語コミュニケーションⅡ】（3単位）【旧【コミュニケーション英語Ⅱ】（3単位）】

「英語コミュニケーションⅠ」で学んだ内容を、さらに発展させた内容になります。「英語コミュニケーションⅠ」を履修または修得した人で、さらに英文の読解力や文法知識を身につけたい人を対象としています。「(コミュニケーション) 英語Ⅱ」を修得している人は受講できません。

旧【英語表現Ⅰ】（2単位）

英語の文法・構文を使って、英語で表現できるようになることをめざします。「(コミュニケーション) 英語Ⅰ」を履修または修得した人が対象です。

旧【英語演習】（2単位）

やさしく、楽しい英語の読み物です。もっと英語を読みたいと思えるような教材を選びました。レポート補助の別冊が付きます。「コミュニケーション英語Ⅰ」を履修または修得した人が対象です。

## 韓国・朝鮮語科

【韓国・朝鮮語入門】（3単位）

日本語にもっとも近い外国語は韓国朝鮮語です。言い換えると日本語ができる人にとってもっとも簡単な外国語は韓国朝鮮語です。「入門」ではハングル（文字）の成り立ちや発音をゼロから学びます。K-POPにもふれます。ぜひ、韓国朝鮮語ワールドを楽しんでください。

【韓国・朝鮮語文化理解】（2単位）

受講選択に制限はありません。日本語でスクーリングをします。試験はありません。

韓国朝鮮の衣食住をはじめとした生活・風習・遊びなどに接します。K-POPの歴史や韓国映画についても学びます。韓国朝鮮文化は日本文化とは似て非なるものです。共通点と違いをぜひ楽しんでください。百聞は一見に如かず。ぜひ、選択してください。

【韓国・朝鮮語初級会話】（3単位）

日常会話のレッスンをします。ハングルが読める方を対象として、入門段階の内容もふまえて、決して難しくない表現を学習します。

旅行に行った時、友だちに会った時、韓国朝鮮語で言葉が交わせることをめざします。また、ドラマの台詞や歌などの聴き取りにもチャレンジします。入門を履修した生徒が対象ですが、それ以外の既習の生徒は担当者まで相談してください。

## 中国語科

### 中国語入門（3単位）

発音の基礎と話し言葉の初歩を学習します。“中国語は難しい”とよく言われますが、日本と同じ漢字を使っている所以我们にとって親しみやすい言語でもあります。中国語で自己紹介できるようになることをめざします。

## 家庭科

### 家庭基礎（2単位）

人生100年といわれるようになった現代で私たちが自分らしく、共に生きることをめざします。目標を持って生きるために自分のこれまでを振り返り、将来自立して生活するための衣食住や経済生活、保育、高齢期について基礎的・基本的なことを学習します。

### 家庭総合（4単位）

人の一生と家族、家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、衣食住に関する生活課題を主体的に解決するとともに、家庭基礎よりもより幅広い内容を学習し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につけることをめざします。さらに2022年4月1日より成年年齢が18歳に引き下げられたことから、成年としての消費者問題についても幅広く学習します。

### フードデザイン（4単位）

食生活を総合的にデザインすることをめざし、「食」について広く深く学びます。演習や実習（年3回実施予定・実習費が必要）も行い、食品の性質や扱い方を学んだり、食生活の課題を見つけ、より良い「食」のあり方を考えたりします。

### 旧子どもの発達と保育（3単位）

子どもの発達の特徴を理解し、保育者の役割や望ましい保育環境のあり方について学習します。幼児食の調理実習や児童文化財の製作なども行います。「発達と保育」を修得済みの方は受講できません。

### 旧ライフスタイル（2単位）

2022年4月1日、成年年齢が18歳に引き下げられました。「賢く始める新成人」や「こんな手口にだまされない」など、近年の消費者問題に注目し、レポートにおける知識の習得だけでなく、暮らしにおけるトラブルの対策や賃貸住宅問題など演習形式のスクーリングを通して主体的かつ実践的に学習します。

## 情報科

### 新情報 I (2単位)

この科目では、情報デザインやプログラミング、情報通信ネットワークとデータの活用などを学ぶことで、日常にある問題を解決する力を身に付けます。プログラミングの実習を行いますので、基本的なタイピングができるようにしましょう。

### 旧社会と情報 (2単位)

情報社会で暮らしていくうえで必要な基本的知識や情報技術等について学習し、情報活用能力を身に付けます。この科目は実習があり、コンピュータを使用して基本的なソフトウェアの使い方を学びます。

### 旧情報の科学 (2単位)

この科目は「社会と情報」より専門的に情報社会や情報技術等について学習をします。ネットワークの仕組み、アルゴリズムとプログラム (VBA)、モデル化とシミュレーション、データベース、問題解決の手法などについて学習します。実習が多い科目ですので、スクーリングが始まるまでに基本的なタイピングができるようにしましょう。

## 工業科

### 旧情報技術基礎 (2単位)

著作権や SNS の利用上の注意点などの情報モラルや、データの表し方 (2進数など)、プログラミングに関する内容など、コンピュータに関する専門的内容について学習し理解を深める。そのため、Word や excel など、パソコンソフトの基本的な使い方を学習する科目ではなく、受講の際には十分注意が必要すること。

### 旧製図 1 (手書き) (4単位)

図面の読み取りから品物の形や大きさを適切に理解し、投影図や立体の図面の作成をする。また、寸法表記などの専門的な内容を通し、図面の工業における意義や役割について学習する。レポートの作製には、製図道具 (0.3,0.5,0.7mm シャープペン、三角定規、コンパス) が必要である。貸出は校内のみとし、自宅で取り組む際は製図道具の準備 (購入) をすること。また、作図課題には多くの時間を要するので、担当と相談をしながら計画的に取り組む必要である。

### 旧製図 2 (CAD) (4単位)

上記の製図 1 と同様に図面の読み書きを通した学習を行う。ただし、作図は手書きではなく、専用のパソコンの CADソフトを用いて図面を作成する。また、一般家庭ではソフトの準備が難しく、スクーリング時間以外に校内のパソコン室で自習が必要であり、作図課題には多くの時間を要する。それらについて十分理解したうえで受講すること。

## 商業科

### 旧 **ビジネス基礎** (2単位)

「基礎」となっていますが、商業の専門科目です。特に、1 範囲は「政治経済」で学習した分野のなかで企業について深く学びます。2 範囲では企業の設立(信用やお金)、みなさんに身近な雇用問題、現在もニュースでよく聞かれる企業倫理について学びます。3 範囲は、企業と企業の取引について学びます。最後に簡単なビジネス計算をします。買い物の仕組みがわかるようになります。なお、この講座では、教科書をただ写すだけの科目ではなく、積極的にスマホなどで調べ物をし、そのうえで「考える学習」を行います。特に知識量の詰め込みではなく「考える」ということを目的に勉強してください。なお、動画配信も行い学習のサポートも行います。本年度が最終講座となります。

### 旧 **情報処理** (4単位)

Word や excel、PowerPoint など、パソコンソフトの基本的な使い方を学習する科目です。特に表計算やビジネス文書が作成します。また、PowerPoint というプレゼンテーションソフトを使用しプレゼン力も身に着けます。この講座では、ある程度のキーボード操作ができる人を対象としています。ただし、自宅にパソコンを持っていない人でも対処できるようにスクーリングは組まれています。なお、実習科目ですのなるべく毎回出席してください。お、動画配信も行い学習のサポートも行います。日本語ワープロ検定試験、情報処理実務検定試験を本校で受験することができ、その対応もしています。補講も行いますから積極的にチャレンジしてください。本年度が最終講座となります。

### 旧 **簿記** (4単位)

企業の帳簿記入や決算とよばれる報告書を作成する技術力をつける講座です。本校では、全経簿記検定 3 級の範囲を習得するまでの講座です。簿記は、初めて習う人が多いと思いますので、基礎からきちんと学びます。なお、年間の授業数は、通学部の授業時間数の半分もありません。そのため毎回の出席が必要です。出席できないスクーリング回のある場合や、わからないところがあったら積極的に質問に来てください。また、動画配信も行い学習のサポートも行います。本校では、全経簿記検定 3 級の受験会場にもなっています。補講も行いますから積極的にチャレンジしてください。多くの本校の先輩方が全国平均を上回る合格実績をあげています。本年度が最終講座となります。

## 総合的な探究の時間

### **総合探究** (3単位)

卒業予定年次に受講する科目です。卒業にむけての自己課題や卒業後の進路について考えを深めていくことをめざします。年間5通のレポートがあり、学習のまとめとしての課題:「卒業への歩み」を最後に提出します。試験は実施しません。

<科目名の前にある「旧」「新」の印について>

旧 … 新教育課程生は受講できない科目

新 … 新教育課程生のみ受講できる科目